

平成30年度における歴史民俗資料館の管理運営に対する評価票

所管課：教育委員会 生涯学習推進課

評価対象期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

評価委員会開催日：令和元年10月17日

1 指定管理者

指定管理者	地域文化財研究所・ケントクグループ
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日（5年間）
施設概要	発掘による埋蔵文化財や、市民から寄贈された農具、民具などの民俗資料が多くあることから、これらを収蔵し、展示、公開するとともに、長年にわたり伝えられてきた民話の紹介などイベントの開催やリーフレットの発行などにより、特徴ある郷土の歴史、文化をより深く理解し、誇りと親しみを感じてもらうことを趣旨とする。
指定管理料	11,176,000円（平成30年度）

2 管理運営の内容

項 目	平成30年度の状況
運営状況	<p>（1）平等利用の確保</p> <p>①職員に対する接遇教育や、案内資料の整備、ミーティングを通じた意思統一などにより来館者への平等で均一なサービスの提供に努めた。</p> <p>②車椅子で来館の方は介助者と来館されるため、職員は介助の妨げにならないよう配慮。障がい者が使いやすい共用トイレがあるので、トイレ使用目的の方も多く、公共施設としての役割を果たした。</p> <p>（2）自主事業の展開</p> <p>①市との共催を含め、施設の特色を生かし、目的に沿ったイベントを重点に計画し、大人向け有料講座「考古学講座 歩いて学ぶ考古学講座」など各種イベントを年間計22回開催。文化財フィギュア（土器・埴輪・仏像等）のガチャガチャを設置した。</p> <p>（3）施設の情報提供</p> <p>①ポスター、市広報誌、当館HPなどにイベント情報を掲載。「馬を介在されたメンタルヘルス研修会」で館長が講演し、本市のPRを行った。</p> <p>（4）安全確保対策</p> <p>①6月18日の大阪北部地震で、考古資料展示室の展示遺物2点と民俗資料展示室の屋根瓦及び展示室内外の土壁崩落に際し、関係各所への連絡、来館者の安全確保を迅速に行った。</p> <p>②9月4日の台風21号でプレハブ屋根が破損し関係各所への連絡、来館者の安全確保を迅速に行った。</p> <p>③災害の際、緊急ネットワークが機能するよう緊急連絡先の掲示などを実施。上記2災害において掲示通り連絡が機能した。</p>
維持管理状況	<p>（5）保守点検</p> <p>①各設備の稼動状況に合わせた最適なメンテナンス計画を立て実施。</p> <p>②台風被害を受けたプレハブの撤去修繕。</p> <p>③2階研修室の暗幕の破れのため一部を交換。</p> <p>④1階管理室のブラインド故障のため交換。</p> <p>⑤職員による蛍光灯交換、機器の状況点検など職員を動員した、効果的な維持保全に尽力。</p> <p>（6）清掃業務</p> <p>①通常のコスト削減に加え、自主的に館周辺の草刈や清掃を実施。</p> <p>（7）警備業務</p> <p>①通常のコスト削減に加え、災害やトラブル発生の際、緊急ネットワークが機能するよう緊急連絡先及び緊急連絡対応体制を掲示。</p>

	<p>(8) 環境への配慮</p> <p>①年間を通した空調温度の見直し、OA機器の適正使用、こまめな消灯の実施など、環境保全の推進と経費を削減。</p> <p>②ごみ箱の共用化、種類別の設置などによりごみの分別と少量化を推進。</p>												
利用状況	<p>今年度は、生駒市ふるさとミュージアムへ教育委員会が遺物を貸し出し、続日本百名城のスタンプラリーが行われるなど府外からの興味をひき、市内はもとより市外からも多く来館者があった。来館者は指定管理者職員の説明でゆっくりと見学し、四條畷の歴史を広くPRすることができた。</p> <p>また、例年と同様に小学校3学年児童の「昔の暮らし」の校外学習で畷古文化研究保存会の協力を得て、子どもたちが実物に触れる体験学習を実施した。</p> <p>前年度と比較し、開館日数が減少する条件のもと、一般団体と個人の利用が増加したことから、利用者数は全体で9.1%の増加となった。</p> <table border="0"> <tr> <td>・学校・保育所</td> <td>494人(45.3%減)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・一般団体</td> <td>2,091人(8.2%増)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・個人</td> <td>7,027人(17.6%増)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9,612人(9.1%増)</td> <td>※開館日数 272日(2日減)</td> </tr> </table>	・学校・保育所	494人(45.3%減)		・一般団体	2,091人(8.2%増)		・個人	7,027人(17.6%増)		合計	9,612人(9.1%増)	※開館日数 272日(2日減)
・学校・保育所	494人(45.3%減)												
・一般団体	2,091人(8.2%増)												
・個人	7,027人(17.6%増)												
合計	9,612人(9.1%増)	※開館日数 272日(2日減)											
収支状況	<p>当年度収入 11,426,464 円 (指定管理料収入:11,176,000 円、自主事業収入:250,464 円) に対し、支出 11,406,756 円で、収支は 19,708 円の黒字。</p>												

3 利用者へのアンケート調査

項 目	平成30年度の状況
調査の実施内容	<p>対象：施設利用者</p> <p>調査期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日</p> <p>調査方法：アンケート用紙と箱を展示室に設置。自由に記入してもらう</p> <p>回答件数：104件</p>
調査の結果	<p>どちらから来館したか：市内32人(31%)、市外72人(69%)。</p> <p>他府県として京都府、兵庫県、奈良県、東京都、神奈川県、埼玉県あり。</p> <p>スタッフの対応：「満足」が85%</p> <p>「やや満足」を含めると97%</p> <p>展示の解説への対応：「分かった」が71%</p> <p>「だいたい分かった」を含めると100%</p>
主な苦情・意見等	<p>【意見・要望、イベントの希望など】</p> <p>○ 小学生以下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校から来て楽しかったから。(市内小学生の女性) ・おし花たいけん。(市内小学生の女性) <p>○ 中学・高校生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱い説明ありがとうございました、畷についてより詳しくわかった感じがします。(市内中学・高校生の男性) <p>○ 19～39歳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とっても面白い資料館でした。職員さんの説明も分かりやすくまた来たいです。これからもこの資料館が長く続きますように。(京田辺市の男性) ・各資料非常に見やすく展示されて良かったです。また来ます。(市内の男性) <p>○ 40～59歳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も特別展を期待しています、解説が大変印象深く面白かったです。(京田辺市の女性) ・後世に伝えていくため、このような施設は必要だと思いました。(大東

	<p>市の男性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料なのがびっくり。募金箱とか置くと良いのではないのでしょうか。(埼玉県の女性) ・初めてしっかり説明を読みました、スタッフの方の解説を聞き「へー！そうだったのか」と驚いたり、感心したりでした。ありがとうございました。(市内の女性) <p>○ 60歳以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回特別展に、内容の素晴らしい資料を拝見させていただき、ありがとうございました。(市外の女性) ・毎回、立派な資料を作成されており感心します。(寝屋川市の男性) ・今度知人を連れて来ます。良かったです。(市内の女性)
--	--

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5 ●4 ○3 ○2 ○1
講 評	<p>来館者へのアンケート調査結果によると、スタッフの対応については97%の方が「満足」、「やや満足」という結果であった。また、展示の解説への対応は100%の方が「分かった」、「だいたい分かった」という結果で、ほとんどの方が展示解説内容を理解できていた。</p> <p>施設の運営面では、昨年度と比較して開館日数が減少する条件のもと、一般団体利用と個人の利用が増加し、昨年度と比べ、利用者数が全体で9.1%の増加となり、評価できる。市が実施する特別展などへの全面的な協力が顕著であり、市民にさらに親しまれるよう引き続き市と協力しながら努力を続けてもらいたい。</p> <p>また、例年どおり3学年児童の「昔の暮らし」の校外学習で、畷古文化研究保存会の会員の協力を得て子どもたちが実物に触れる体験学習を実施したことは、子どもたちへ郷土の歴史、文化に触れる機会を提供するという点で、今後とも継続していただきたい。</p> <p>施設の管理面では、施設内にとどまらず、周辺の清掃も実施し周辺環境に配慮している点が顕著であり、6月の地震と9月の台風の2度の災害に際して迅速な対応を行い、2次被害等を防いでおり、大いに評価できる。</p> <p>以上の内容から「計画内容をやや上回る結果である」と判断し、評価を「4」とする。</p>

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る結果 (担当部局として非常に満足できる結果)
- 4 計画内容をやや上回る結果 (担当部局として満足できる結果)
- 3 計画内容どおりの結果 (担当部局として妥当と判断する結果)
- 2 計画内容をやや下回る結果 (担当部局として不満が残る結果)
- 1 計画内容を下回る結果 (担当部局として非常に不満が残る結果)